

研究だより No.2

令和5年11月28日(火)

Up! Up!!

豊島区立池袋第三小学校

研究主題 「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」

5年生

今年度2回目の研究授業が、6月21日に5年3組で行われました。社会科の授業で、「わたしたちの食生活を支える食料生産」の中から「米作りのさかんな地域」の授業です。子どもたちが資料を見て疑問に思ったことを、タブレットを活用しながら共有・分類し、学習問題「庄内平野では、どのようにおいしいお米を作っているのだろうか。」を設定しました。今回は単元を通して追究の意欲が高まった手立てをお伝えします。

第5学年 社会科

『わたしたちの食生活を支える食料生産』 「米作りのさかんな地域」

①教材を身近に



①庄内平野の米作りを題材に学習を進めるにあたり、山形県遊佐町から届いた米を子どもたちと育てることや、栄養職員の協力の下、給食で山形県産の米を提供しました。資料だけではなく、子どもたちと山形県とのつながりを身近に感じ、興味をもって主体的に学習したり対話したりしながら問いを追究することができました。

②学習シート

A	B	C
米を効率よく大量に生産するための取り組みについて2つ以上見つけ、そのよさを理解することができた。	米を効率よく大量に生産するための取り組みについて2つ見つけることができた。	米を効率よく大量に生産するための取り組みについて1つ見つけることができた。
米作りの工夫を理解して考えを書くことはできたけど、良さをかけなかったのが次頑張ります。		

②その時間に目指す姿を授業のはじめに示し、自分の目標を意識して学習に取り組めるようにしました。タブレットを活用して毎時間の振り返りを学習シートに記入していくことで、自分の学習状況を自覚し、次はどのように学んでいくかを調整していく力の高まりが見られました。

③庄内米PR新聞



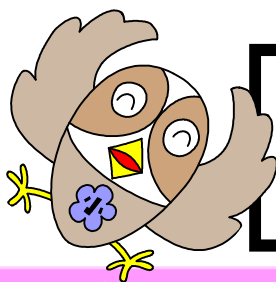
③庄内米のよさを伝えるために、学習したことを紙面にまとめました。新聞に表現することで、知識を整理するとともにこれからの農業の在り方や消費者としての関わり方などを考えるきっかけになりました。この日の授業では新聞にどんなことが書いてあればよいかクラス全員で話し合い、学習問題を追究していく意欲を高めました。

成果

○教材を自分事としてとらえ意欲的に追究することで、自分の考えをもち、ペアやグループ、クラス全体での対話が活発になった。

課題

●学習シートを活用した自己評価の妥当性を高める必要があった。



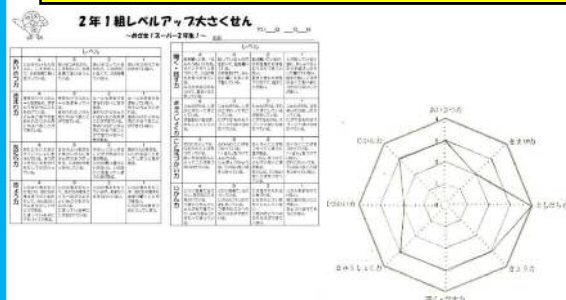
2年生

研究主題今年度3回目の研究授業が、9月28日に2年1組で行われました。学級活動(2)の授業で、学校生活の態度をよりよくしようという願いから「2年1組レベルアップ大さくせん」に取り組み「グループで次の月に取り組むミニ作戦を決める」時間でした。

1ヶ月間の振り返りから次の月に取り組みたいミニ作戦を選び、ピラミッドチャートを使ってグループで一つに決めました。

第2学年 学級活動(2) 「2年1組レベルアップ大さくせん」

①ルーブリック表で振り返り自己の課題に気付けるようにする。



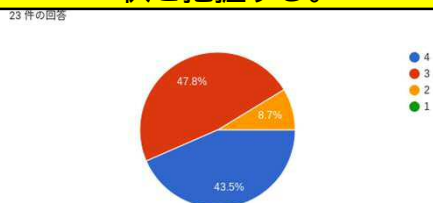
①「あいさつ力」や「きまり力」など「〇〇力」と8つの項目を立て、ルーブリック表を作成し、日々の生活を具体的に振り返りました。ルーブリック表の結果をレーダーチャートに表すことで視覚的に今の自分に気付くことができました。気付いたことや分かったことを基に次の月の1ヶ月の間に高めたい力を考えることができました。

②「ミニ作戦」のアイテムカードを使い、次の月の取り組みを決める。



②「レベルアップミニ作戦」を決めるときには、アイテムカードを使用しました。「どこでもあいさつ大さくせん」や「じゅんび先さくせん」など、日常的に取り組める活動が書かれており、その中から、次の月にレベルアップしていくための「ミニ作戦」を決めることができました。アイテムカードを使うことで、レベルアップしたいことを明確に意識することができました。

③フォームの結果からクラスの現状を把握する。



③ルーブリック表で振り返った結果を数値化し、Googleフォームに入力し、学級全体の現状が見られるようにしました。入力した結果を円グラフにすぐ反映できるので、その場で学級の実態を確認することができました。本時では、学級の結果を見て、どの力が高くどの力が低いのか視覚的に捉えることができました。

成果

ルーブリック表での振り返りから気付いたことや分かったことを書き、高めたい力を考えることで、グループで話すときに理由を付けて伝えられる児童が増えてきた。普段の生活の中で「あいさつ力を頑張りたい」や「じゅんび先さくせんができた」など自己調整につながっている。

課題

ピラミッドチャートの話し合いでは、個人の「高めたい力」がグループでの「レベルアップミニ作戦」に反映されにくかった。今後の学習では、個人のミニ作戦をグループの友達に伝え合う活動を取り入れていく。